

シラバス参照

シラバス検索 > 検索結果一覧 > シラバス参照

科目コード
A5AN260089
科目名
精神保健福祉の原理Ⅱ
担当教員名
尾口 昌康
科目区分
専門基礎科目
対象学科
[26]文学部 人間関係学科
対象学年
1 年次
開講期間
後期
単位数
2
主要授業科目
実務家教員
○

+++授業概要							
①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）を概観する。 ②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態を学ぶ。 ③精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を学ぶ。 ④現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責を学ぶ。							
到達目標							
No	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
到達目標1.	精神障害者の生活特性について、クライアントや家族、精神科医療、社会との関係から説明することができる。		◎				
到達目標2.	精神保健福祉のコアとなる原理について、その歴史的背景や新しい実践の視点をもとに述べるができる。			○			

到達目標3.	精神保健福祉士の役割について法や職業倫理、業務指針などからキャリアの入り口に立つ自己のありようを述べるができる。				○		
--------	--	--	--	--	---	--	--

授業計画

No	授業内容	授業時間外学修の内容と時間
1.	精神科医療による生活への影響	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
2.	精神障害者の家族が置かれている状況	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
3.	社会生活を構成するものと課題	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
4.	メンタルヘルスをめぐる新たな生活課題	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
5.	精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
6.	精神保健福祉士による実践の価値・原理（社会的復権と権利擁護、自己決定、当事者主体）	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
7.	精神保健福祉士による実践の価値・原理（社会正義、ごく当たり前の生活）	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
8.	精神保健福祉士による実践の視野・視点（人と環境の相互作用、生活者、エンパワメント、リハビリ）	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
9.	精神保健福祉士による実践の視野・視点（アンチスティグマ、ハームリダクション）	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
10.	援助における関係性	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
11.	精神保健福祉士法の理解	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
12.	精神保健福祉士の職業倫理	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
13.	精神保健福祉士の業務指針・業務分類	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）
14.	精神保健福祉士の職場・職域	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）

15.	精神保健福祉士の業務内容とその特性	事前：テキストの該当箇所、配布資料や参考文献などの情報を必要に応じて予習する（2h） 事後：授業で学習したことをテキストや配布資料をもとに復習し、理解水準を確実なものとする（2h）				
履修条件や関連する科目等						
履修条件は特にありませんが、授業では精神保健福祉士を目指すだけでなく、社会福祉士や公認心理師・臨床心理士を目指す方にとっても、身に着けておくべき大切な知識もお伝えする予定です。 ぜひ多くの方の受講をお待ちしています。 ※ なるべく「精神保健福祉の原理Ⅰ」を履修後に受講してください。						
教科書 （テキスト）						
『精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理』 中央法規 3,300円（税込）						
参考書 （授業資料）						
以下は漫画ですが、精神保健福祉士の仕事や精神科医療を理解するにあたり、ぜひ読むことをお勧めします。 1．『死にたいと言ってくださいー保健所こころの支援係ー』中原ろく著、松本俊彦 監修 双葉社 2．『Shrinkー精神科医ヨワイー』月子 著、七海 仁 原著 集英社ヤングジャンプコミックス						
評価方法とその割合						
到達目標毎 の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取り組み姿勢	その他
到達目標1	40%					
到達目標2	30%					
到達目標3	30%					
評価方法（自由記述欄）						
期末試験を実施します。上記の「到達目標」に応じて、AA(90～100点)、A(80～89点)、B(70～79点)、C(60～69点)、F(59点以下)で評価します。						
評価基準等						
学習の到達度に応じて、AA(90-100点)、A（80-89点）、B（70-79点）、C（60-69点）、F（59点以下）で評価します。						
学習相談及び学習成果のフィードバック						
研究室は34号館5階の531号です。オフィスアワーは毎週木曜日の3限目、および金曜日の3限目です。 メールでの連絡先は、m-oguchi@nm.beppu-u.ac.jp です。@は小文字に差し替えてご連絡ください。 準備学習（予習・復習等）に必要な時間の目安は、講義2単位の授業 1 コマは4時間です。具体的な指示は授業中に行います。						
法令等に定められた授業科目に含める必要事項						
この科目は精神保健福祉士国家試験必須科目です。						
学生へのメッセージ その他						
この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施します。その場合、オンデマンドと課題提出による授業になります。普段の対面授業のように、授業時間内にアクセスし、受講し、課題提出するようにしてください。 本科目は、大分大学の学生も受講可能です。						
ナンバリング						
SWM-1-01-130						
更新日付						
2026/06/09(火) 08:48						